

チンチン電車で行く“泉州・堺”散策

令和元年11月27日(水)

“堺”の名称の由来は、旧国名の摂津・河内・和泉の境に発展した“まち”で、普通名詞の〈境=堺〉が地名になったといわれている。一般には、国境は政治・経済・生活活動等の範囲の辺部であり、河・山岳・荒地等であることが多い。“堺”という都市の成り立ちは、世界史的にも極めて珍しい都市の発達形態といえる。

明治初期に、摂津・和泉の境界が現在の大阪市・堺市の間を流れる大和川（江戸中期に付け替え）に変えられるまで、堺の大小路通りが古代より摂津・和泉の国境であった。したがって、俗に“泉州・堺”といわれるのは、近代になってからのことなのである。

中世の輝かしい「黄金の日々」を享受した会合衆の堺は、一体何処に！東洋のヴェニスといわれた古の環濠都市・堺に、“小さな秋”見つけに出かけませんか！

水先案内人：牧 彰（会員）

□チンチン電車（大阪で唯一）

旧市街地を南北に貫く大道筋を、昭和初期製造のレトロなチンチン電車が走る。明治44年（1911）、大阪・恵美須町と堺・大小路間が開通する。かつては、並行する南海鉄道と行楽客を奪い合うほど人気があった。

□町家歴史館（清学院・山口家住宅）

山口家住宅（重文）は江戸時代初期の町家として極めて貴重。清学院は寺小屋が開かれていた修験道の寺院で、日本人で初めてヒマラヤ山脈を越えてチベット入りした河口慧海も此处で学ぶ。

□本願寺別院（旧堺県庁跡）

廃藩置県に伴い、明治4年（1871）から10年間堺県庁に貸与されていた。堺県は広大な県域を有し、独自の県政を行ったが、明治14年（1881）に大阪府に併合される。現在の本堂は文政8年（1825）再建で、堺市に現存する最大木造建築。堺県の廃止後、浄土真宗本願寺派に返還されて今日に至る。

□さかい利品の杜

堺が生んだ茶の湯の大成者「千利休」と、日本近代文学黎明期の明星派歌人「与謝野晶子」の生涯や人物像などを通じて、泉州地域の歴史・文化の魅力を発信する文化施設。



□南宗寺・大安寺（堺会合衆の夢の跡）

南宗寺は三好長慶が建立し、大坂夏の陣で焼失後元和5年（1619）沢庵和尚により再建される。利休好みの茶室・実相庵・千家一門の供養塔や伝説の徳川家康の墓など見所満載。

大安寺本堂（重文）は、NHK大河ドラマ「黄金の日々」の呂栄助左衛門の屋敷跡と伝承される。

◇参集地：阪急「茨木市」駅 8時30分、又は阪堺電軌「高須神社」駅 10時（時間厳守）

◇順路：「茨木市」⇒「南方／西中島南方」⇒「天王寺／天王寺駅前」⇒「高須神社」～清学院～鉄砲鍛冶屋敷～山口家住宅～本願寺堺別院～堺伝統産業会館～菅原神社～閑口神社～与謝野晶子生家跡～千利休屋敷跡～（昼食）～利品の杜～大安寺～南宗寺～南海線「湊」⇒「新今宮（JRに乗換）」⇒「大阪」⇒「茨木」

◇参加費：無料（会員には、1,000円の補助あり）

交通費・食事代・酒類は各自ご負担ください。

◇拝観料：南宗寺—400円

さかい利品の杜—300円（入館料）、500円（抹茶・和菓子）

（参考）山口家住宅—200円・清学院—100円（いずれも65歳以上無料）

◇食事処：梅の花（利品の杜店）など

◇申込先：「街ing いばらき」代表・阪田 浩（080-1436-9881） 会員外の飛び入り参加大歓迎！

Tel&Fax / 072-627-3480 E-mail / ibarakisakata@crux.ocn.ne.jp

※本会行事は、任意・自由参加です。不測の事故・障害などについては、自己責任でご対応ください。

以上